

令和7年2月5日(水)

校長室だより

小山市立美田中学校



素晴らしい人＋素晴らしい環境＋素晴らしい地域
魅力ある美田中学校



早いもので、卒業式まで約1か月となりました。日々、感謝の気持ちを大切にしながら、「今」を大事にしていきたいと思います。生徒達はそれぞれ自身のやるべき事を明確にしながら努力を重ねています。そのひたむきな美田中生の姿に感銘を受けています。

2年生立志記念スキー宿泊学習

1月26日～27日にかけて、日光湯元において実施しました。感染症等で体調を崩すことなく参加予定者全員が元気に参加できました。これも生徒達が意識を高く持って過ごしてくれただけでなく、ご家族の皆様のご協力のおかげでもあります。天気にも恵まれ、一面パウダースノーのゲレンデでスキーを楽しみました。また、立志式では代表者が作文を発表し、さらには一人一人が立志の決意を述べた後、学年合唱がありました。引率した教職員も大きな感動を味わうことができました。生徒達に感謝の気持ちで一杯です。



私は、人生の新たな節目、2年生の行事の中で一番大事な立志記念スキー宿泊学習の実行委員長をさせていただきました。みんなが安全に安心して立志を迎えることができ、とても嬉しく思います。また、一人一人が涙を流し、今まで支えてくれた方々へ感謝の気持ちが持てた最高の式になりました。一步大人に近づいた私たちはこれからも協力し合い、さらに絆を深められるようお願いの気持ちを忘れず生活していきたいです。 実行委員長 W

第2回 いじめゼロ集会

1月15日に生徒会が主体となって行いました。1学期に小山市のいじめゼロ子どもサミットを受けて、本校でも第1回目を行い、その際、それぞれがスローガンを作成しました。公民館等にも協力いただき、掲示をしておりますが、今回はそのスローガンに込めた思いを代表者に自身の言葉で語ってもらうことにより、改めて意識の向上を図りました。代表者の思いの一部を掲載しました。



「いつもの言葉 気づかぬうちに 言葉の針」

1年 Tさん

普段何気なく使っている言葉でも、人によっては傷つけてしまう事があると思ったからです。いじめをなくしていくために、自分たちが言葉や行動に気をつけることはもちろん、自分がストレスや不満を抱えたときに誰かにぶつけることはせず、上手に解消できる方法を学んでいきたいです。

「考えた?やられる側のホントの気持ち」

2年 Yさん

自分がよければよい、自分は同じ事をされても平気だから相手にやっても大丈夫、などという考えはやめて、相手の気持ちもきちんと尊重して欲しいという気持ちを込めました。いじめは誰もが加害者にも被害者にもなってしまう可能性があります。軽い気持ちで出た言動でも、被害者にとっては、心身に深い傷を負うことさえあります。そうならないために、人と接するときは、相手の気持ちを考えることが大切だと考えます。

「ちゃんと見て 私の心の 内側を」

3年 Tさん

人の心は周りから見えないからこそ、誰もが相手の気持ちを考え、思いやりの心を持って接して欲しいという思いを込めました。私は言われて嫌なことが相手にとってなぜ嫌なのかを考えられるようになることが、いじめゼロへの第一歩だと思います。

学校給食週間～給食集会～

1月22日に給食委員会が中心となって行いました。「食を大切にしよう」というテーマのもと美田中生のアンケート結果を示した上で、朝食をとることや栄養バランスの大切さについて全校生徒で改めて考えました。また、食育ピクトグラムについての説明もありました。クイズを交えながら楽しく全校生徒で学ぶことができました。

【標語の部 優秀賞】 ※敬称略

A, S, T, T, N,
K, K, K, S



生徒の活躍

※敬称略

税についての作文コンクール（会長賞） T, I（佳作） Y

中学生人権作文コンテスト（優秀賞） N

第68回 JA 共済県下小・中学生書道コンクール 半紙の部（佳作） M

第57回下野教育書道展（金賞） S, M（銅賞） I

（奨励賞） A, S, T, T, Y, A,

K, M, Y, A, I, K,

F, M, Y, I, K, T,

M, M, Y

（入選） T, M, Y, K

新体力テスト（S認定証） K, Y

下都賀地区1年生強化バスケットボール大会（ブロック準優勝）

第71回小山市教育文化保健体育功労者表彰 F

今年度は小山市全体で99の団体・個人の方が表彰されました。本校からはFさんが陸上競技における素晴らしい実績により表彰されました。

